

平成 2 9 年 第 1 5 回 真庭市 教育委員会 会議録

会議種類	定例会	
開催年月日	平成 2 9 年 1 2 月 2 1 日 (木)	
開会及び閉会時刻	開会時刻	9 : 3 0
	閉会時刻	1 1 : 1 0
場所	真庭市本庁舎 3 階 教育委員室	
会議録署名者	教育長 三ツ 宗宏	
	署名委員 小谷 真人	
会議録作成者	教育総務課 主幹 吉鶴 尚美	

1 出席委員

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	三 ツ 宗 宏	
教育長職務代理者	小 谷 眞 人	
委 員	中 井 靖 典	
委 員	井 口 利 美	
委 員	常 本 直 史	

2 出席した者

職 名	氏 名	備 考
教 育 次 長	池 町 陽 子	
教育委員会事務局統括監	美 濃 亮	
教育総務課長	河 島 賢 治	
学校教育課長	丸 山 敬 三	
生涯学習課課長	武 村 良 江	
中央図書館準備室長	池 上 博	
教育総務課主幹	吉 鶴 尚 美	

3 傍聴人

なし

4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	三ツ教育長
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	小谷委員
第 3	教育長諸報告	池町次長
第 4	付議事件	
	真庭市小・中学校適正配置実施計画の改正について	原案可決
	真庭市立二川小学校・湯原小学校 学校統合基本方針の策定について	原案可決
	真庭市小・中学校給食施設整備計画の改正について	原案可決
	真庭市長の権限に属する事務の一部を委任することに関する協議について	原案可決
第 5	報告事項	
	北房学校給食センター職員休憩室内での発煙について	
	北房新教育環境整備事業の進捗状況について	
	特別天然記念物タンチョウの死亡について	
第 6	その他	
第 7	閉 会	

◆午前9時30分 開会

5 議事の概要

○三ツ教育長

第15回真庭市教育委員会定例会を開会します。

日程第1、教育長あいさつ。

すべての学校が終業式を迎えます。年末年始というのは、1年間を振り返り、また新年の誓いを立てる大変大事な時期だと思っています。そうした時を子どもたちも教育に携わる者も冬休みの間に過ごしてもらえたらと思います。

1点だけ話をします。昨日、12月定例会が開会を向かえました。今回に限りませんが強く感じている事があります。教育行政は大変多くの事を同時に進めております。学校建築・学校の適正配置あるいは給食施設の今後の対応、それから教育環境を整備し市民の学ぶ風土を作っていこうという事、文化財保護行政など沢山の事があります。しかし、個々バラバラではなく将来に続く理念できちんと括って行かないといけないと、議会の質問を受けて強く感じました。

改めていう事でもありませんが、教育とは人を育むことです。結果が出るまでには時間がかかります。また、人の事ですので、成果把握も難しいと思っています。であれば未来を見通した持続と安定をどう創っていくのか、この教育委員会に課せられた大きな使命だと改めて感じています。10年後、20年後、もっと先にどんな姿を描いていくのか、どんな環境を描いていくのか、しっかり知恵を寄せ合って議論をしていきたいと思っています

日程第2、署名委員の指名は小谷委員にお願いします。

日程第3、教育長諸報告を教育次長にお願いします。

○池町次長

参考資料あり。

○三ツ教育長

ご意見、ご質問ありませんか。

○全員

なし。

○三ツ教育長

日程第4、付議事件に移ります。議案第27号 真庭市小中学校適正配置実施計画の改正についてお願いします。

○河島課長

参考資料あり。

○三ツ教育長

議案 27 号について、ご意見をお願いします。

○小谷委員

平成 29 年までの方針では、極小規模の小学校、檜邑・余野・二川小学校について統合の方向で良かったですか。

○河島課長

平成 29 年末までに方針決定する学校という事で挙がっています。

○小谷委員

見通しとしては、それまでの方向性は統合だった訳ですか。

○池町次長

捉えかたですが、方針を決定するという事は統合ありきではなく、地域の方と話をし、どう方向を決めるために話をしてきました。

○小谷委員

極小規模が 15 名程度で、1 学年が 1 名程度という事があったと思いますが、それに当てはめると余野小も入っていたかと思いますが、今回現状維持になっているので今の説明では平成 31・32 年の児童数の変動があまり無いから現状維持という理由になった訳ですか。

○河島課長

第一段階に小規模校についての定義が書いてあります。児童数が 1 桁の学校について実施するという事で対象校を絞っています。当面現状維持という事については、児童数も今のまま続きますし、地域の方、PTA の保護者の方は意見交換の中で現状維持という思いです。

○小谷委員

余野小も統合の方向性は残すべきではないかと思いますが、将来的には統合も有り得るという形も残した方が良くかと思っています。皆様のご意見を伺いたいです。

○三ツ教育長

統合の可能性の有る無しの議論になると、どの学校が該当になるか分からないと思っています。ただ、文部科学省の学校のあり方の手引きにもありますが、1つは数合わせの理屈だけではないだろうと思っています。

学校は子どもの教育の機関ですから、子どもにとって何が大切なのか、地域方々も子どもの数が減ってきている中で、しっかり議論していただくことが大事だと思います。もう1つは学校の特性として、地域ではコミュニティの核としての役割を担ってきたところもありますので、そこも含めて議論をしていくのが大事だと思います。ただ、小谷委員が言われたように子どもの数が減っていく中で、将来を担う子どもたちを育むうえで、どの様な教育環境が望ましいのか議論をしていくことが大事だと思います。

○井口委員

保護者の立場での事になりますが、学校訪問に行かせてもらおうと1桁の学校だと教育環境に相応しいかと聞かれると、そうではないと思います。ただ、学区という線引きがあって、生徒数などを考えると、集落として少ないから生徒が減るのは当たり前なので、学区の線を広げれば生徒数も増えるんじゃないかと思いました。

交通の便が悪い子どもたちだと、バスが運行されていて檜邑・余野の生徒がスクールバスで、遷喬が人数が多いので希望される方が行けるようになればと思ったりします。考え方の一つに入れていただけたらと思います。親としては、登下校の確保をしていただけたら、後は先生にお任せになるので、義務教育の間はその様な見方があっても良いと思いました。

○小谷委員

平成29年度末までに方針決定する学校と謳っているということは、私の解釈では29年度末までに将来的に統合するという解釈としてきましたが、これは間違いですか。

○河島課長

今後については、統合が無いとは言えないと思うので、現状として当面現状維持とするという事で未来永劫とは考えていません。余野小の先生方やPTAの保護者の方とは、学校の適正配置や学校の教育環境について年に1度くらいは継続して話がしたいですと保護者の方からも話をいただいております。

○小谷委員

当面現状維持とすると、いつまでが当面なのか。いままで、檜邑小、余野小、

二川小については同等で考えて進めていたと思いますが、余野小だけを現状維持と打ち出すと不都合があれば統合しないとなる気がしますが、いかがですか。

○河島課長

あくまでも計画ですので変更すれば良いと思いますし、ついでには環境も変わりますので地域、保護者の理解が頂ける様なら統合する方針に変更しても良いかと思えますし、一定の人数まで減った時に教育委員会が一方的な判断をして保護者、地域の方に理解をしてもらおう場面も想定されると思います。学区の環境や保護者の考え方を含めて話し合いをしていくべき事項だと考えています。

○小谷委員

心配されるのが、当面現状維持という言葉が一人歩きをしないかと思ひ、先程、河島課長の説明をきちんと議事の中に記録として残しておいて欲しいという思いがあります。

○中井委員

要するに人数が一番問題になっている訳ですか。一桁ではないという事が。

○河島課長

それもあります。地元と保護者の話し合いというものもあります。

○中井委員

統合は反対の意見がほとんどの様ですが、賛成の意見もありますか。

○河島課長

あります。

○常本委員

地域から学校が無くなるのは非常に大きな問題だと思います。高等学校において県北を中心として学校の再編ということも思っています。小規模であっても教育活動が適正に行われるのか。子どもにとって一番良いのは何か。それを取り巻く学校環境それから地域にとって、どちらが良いのかの結論は、よく議論して決めていく事が大事だと思います。人口減はなかなか止まらないので、学校は地域に支えられて始めて存続していくので、しっかり議論していけば良いと思っています。

当面の間という事なので、その先には、当然児童数が減れば話も進むと思っています。将来を担う子ども一人ひとり大切に考えながら、育てていくのが大

事だと思えます。確かに大きな学校に入って、人間関係を社会に出る前に構築していくことはとても大事な活動だと思えますが、しっかりみんなで議論出来たらと思えます。

○三ツ教育長

いただいた意見の中で計画的なもので固定的なものではないということ、併せて議論については継続してそういう場をもっていくという、付加した形でこの議案第 27 号についてお諮りをします。ご異議ありませんか。

○全員

異議なし。

○三ツ教育長

議案第 27 号 真庭市立小中学校適正配置実施計画の改正について、21 日原案可決となりました。

議案第 28 号 真庭市立二川小学校・湯原小学校学校統合基本方針の策定についてお願いします。

○河島課長

参考資料あり。

○三ツ教育長

ご意見、ご質問ありませんか。

○小谷委員

前回の教育委員会で保護者や地域の方との話し合いをもたれた結果報告もあり、地域の方も理解されているようなので、これに賛成します。

○三ツ教育長

それでは、お諮りします。議案第 28 号 真庭市立二川小学校・湯原小学校学校統合基本方針の策定について、ご異議ありませんか。

○全員

異議なし。

○三ツ教育長

異議なしと認めます。原案可決となりました。

議案第 29 号 真庭市小中学校給食施設整備計画の改正についてお願いします。

○河島課長

参考資料あり。

○三ツ教育長

ご意見、ご質問ありませんか。

○三ツ教育長

お諮りします。議案第 29 号 真庭市小中学校給食施設整備計画の改正について、ご異議ありませんか。

○全員

異議なし。

○三ツ教育長

異議なしと認めます。原案可決となりました。

議案第 30 号 真庭市長の権限に属する事務の一部を委任する事に関する協議について、お願いします。

○河島課長

参考資料あり。

○三ツ教育長

ご意見、ご質問ありませんか。

○全員

なし。

○三ツ教育長

お諮りします。議案第 30 号 真庭市長の権限に属する事務の一部を委任する事に関する協議について、ご異議ありませんか。

○全員

異議なし。

○三ツ教育長

異議なしと認めます。原案可決となりました。付議事件は以上です。

次に日程第5、報告事項に移ります。北房学校給食センター職員休憩室での発煙について、お願いします。

○河島課長

参考資料あり。

○三ツ教育長

ご意見、ご質問ありませんか。

○全員

なし。

○三ツ教育長

北房新教育環境整備事業の進捗状況について、お願いします。

○河島課長

参考資料あり。

○三ツ教育長

ご意見、ご質問ありますか。

○常本委員

グラウンドの周辺に木があったと思いますが、それは切ったのでしょうか。縦貫道側からの風が強いので、葉っぱがグラウンドやプールの方に落ちるので、どの程度切っているのか気になりました。

○河島課長

状況としては、建物の建築工事と運動場に敷地内の外周はまだ手つかず状態ですが、内側は見えないので、見あたる物はないと思います。

○三ツ教育長

駐車場の近くにあった桜などは、無い状態です。ただ、縦貫道の近くは手つかずです。

その他にありますか。

○全員

なし。

○三ツ教育長

特別天然記念物タンチョウ死亡について、お願いします。

○武村課長

参考資料あり。

○三ツ教育長

ご質問、ご意見ありませんか。

○全員

なし。

○三ツ教育長

日程第6、その他に入りますが報告等ありますか。

委員の皆様から何かご意見、ご提言がありましたらお願いします。

○議員

なし。

○三ツ教育長

それでは、学校訪問に行っていたので、感想などありましたらお願いします。

○小谷委員

遷喬小学校が非常に落ち着いてきている事が一番です。今まで、いろいろ指摘をしたり議会の方でも教室のパーティションの問題等質問がありましたが、訪問した時には多目的ホールや教室のパーティションを隣の教室の音が聞こえないように静かな状態で授業をしていました。私たちが参観をしても、後ろを向いたりしないで、子どもの気が散らない授業の様子でしたので、かなり学習の効果も上がっていると思いました。

○中井委員

特に感じたのは、校長先生のリーダーシップや行動力です。学校によって目標やテーマがあると思いますが、校長先生がどう教頭先生を含め教員を引っ張っていくか、またいろいろ教えていくか、それが出来ている学校と出来てない

学校とを今年は特に感じました。出来ている学校は、教員から子供たちまで行動が出来ていました。小規模校でも出来ていない学校があつて、大規模校であっても校長先生のリーダーシップによっては出来ているなあと、特に今年は感じました。

○常本委員

初めて行きまして、中井委員が言われましたが、管理職のリーダーシップがこんなに影響を与えるのかと感じました。これを浸透させるためにはどうすれば良いのか、私の現役の頃を思い出しながら、見させてもらいました。

教育目標や目指す子ども像等たくさん書いてありますが、もっとシンプルにしても良いのかと思いました。学校計画も書かれていましたが、もっと具体的な計画に落とし込めないか。例えばこういう力を付けるために教員の中で共通理解をしていく必要があると思います。若い教員はその様な経験をすることで、成長していくと思います。難しいですが、管理職が研修も含めて、どうデザインをしていくかに関わってミドルの教員も育っていくと思います。ミドル以上は企画力と提案力が学校の中で出てきているのかが見えなかったので、意見交換が出来ればと思いました。

美甘小学校には、階段に単位が書いてありましたが、それは良いなと思いました。

ICTの活用が学校によって、まちまちだと思いました。書き込める物もあるので、映し出すだけではもったいないと思いました。

それと先生方は子どもたちを見ているとは思いますが、ある子どもが話をしている時に、別の子どもが話かけたものをひろっている先生が少ないと感じました。何気ない言葉ですが、人数も少ないのでひろえるのではないかと思います。全体を見ながら、子どもたちをコントロールすることをファシリテーションと言いますが、そういうところをもっと出来れば良いと思います。黒板に向かって話している先生がいたので、それが残念でした。やはり話す時は生徒に向かって話して欲しいと思います。

子どもたちが対話する授業がもっとあれば良いと思いました。読む力というのは本当に大事だと感じました。文章を読んでそれを読み解く事を小学校からやっていけば力がついていくと思いました。

○井口委員

感想としては、全体的に落ち着いていると思いました。それには地域の方々の方が大きいと思いました。子どもたちの為に一生懸命してくれている事が各学校で聞くことができました。校長先生方は、地域の方に直接伝えていると思いますが、教育委員会でも伝える機会があれば良いと思いました。

個々にいろんな問題があると思いますが、その場その場で人権などを交えながら対応して下さってくださっている先生方にも感謝をしました。親としては元気に安心して学校に行ける毎日があることが、本当に有難いことなので保護者の方も感謝してもらえたら良いと思いました。

○三ツ教育長

経営という事が、勉強にもなりましたし気にもなりました。一つは学校経営を教育委員会がどうやって応援していけるか。

学校訪問につきましては、よろしいか。

○全員

なし。

○三ツ教育長

日程の確認をお願いします。

○河島課長

次回の教育委員会は1月18日で確認いただいております。2月は8日ですがでしょうか。

○全員

異議なし。

○三ツ教育長

第15回真庭市教育委員会定例会を終了します。

一同礼

(午前11時10分 閉会)